

楽天シーズン報告会 八学大に3選手

塩見母校でファンと交流

プロ野球の楽天は26日、東北各地でシーズン報告会を開いた。八戸市では、八戸学院大の体育館でふれあいイベントを開催。同大野球部出身の塩見貴洋のほか、濱矢廣大と村林一輝が訪れ、約200人のファンと交流した。

参加者は、選手3人とキヤッチボールやトス打撃を楽しんだ。子どもからの質問コーナーで「楽天以外の球団ではどこでプレーしたんですか」と問われ、塩見が「移籍したくありません」と答えて会場を沸かせた。サイン入りのグッズが当た

るじゃんけん大会も開かれ、大いに盛り上がった。塩見のファンだという八戸市立湊小4年の林崎文乃さん(10)は「(塩見が)かっこ良かった。キヤッチボールができてうれしかった」と笑顔で語った。塩見は「みんな元気が良くて、楽

しく過ごせた。来季も、ぜひ球場に足を運んで試合を観戦していただきたい」と話していた。

青森県内では同日、青森市や弘前市にも選手が訪れて報告会を行った。

(林泰輔)